

1/16 国内最大級の足跡化石群

下切の可児川河川敷で発見された足跡化石群の説明会が開催されました。

化石は、約1800万年前の哺乳動物の足跡とみられ、大小合わせて約650個が確認されました。説明会には、県内外から約640人が訪れ、調査者の岐阜聖徳学園大学非常勤講師の鹿野勲次さんが、8回に分けて説明しました。鹿野さんは、「足跡を自分の目で見つけ観察してほしい。」と参加者に呼び掛けました。



太古のロマンに思いをはせる参加者



おいしくて山田市長と会話も弾みます

1/25~29 ふるさと献立おいしいな

市は「全国学校給食週間」に合わせ、地元産の食材を使用したり児童らに人気の献立など、日ごとにテーマを決めて特色ある給食を提供しました。

「ふるさと可児の献立」と題された26日は、山田豊市長が春里小学校を訪れ、5年1組の児童と一緒に、春里地区でとれた赤米ご飯、川合地区産のサトイモのころ煮などを味わいました。「おいしいね」「おかわり」などと話しながら、児童らは楽しく味わいました。

2/3~17 1年間の成果を発表

2月3日から17日の間に可児市高齢者大学クラブの発表会や合同作品展が開催されました。

広見公民館ゆとりピアで行われた合同作品展には、文芸（俳句）、ペン習字、毛筆習字、水墨画、庭木・盆栽、折り紙、各クラブの力作が展示されました。

訪れた人は、「干支の寅をモチーフにした作品も多く、今年らしさを感じます」、「大作揃いで見ごたえがありますね」と作品に見入っていました。



ずらりと並んだ力作



コツを聞きながら「おいしくな〜れ」と調理する児童たち

2/5 地元の先生と豆腐づくり

今渡南小の3年生の児童は、豆まきから脱穀までの大豆栽培を学習をしてきました。今回はその集大成として豆腐づくりを体験しました。

旧今渡中学校出身者を中心とした「子丑会^{なうし}」の皆さんに教えてもらいながら、初めて体験する豆腐づくりに、子どもたちは興味津々。最後に型から白くきれいな豆腐が取り出されると、歓声が上がりました。

感想は、「しぼる所で力がいるけど、楽しかった」、「味が濃くておいしい!」と、大満足でした。